

『脱原発・自然エネルギー二〇〇人詩集』（日本語・英語合体版）

——福島原発事故の悲劇をいかに乗り越え未来を切り拓くことが可能か
地球自然環境の根源を見つめ、詩的な感性でとらえる作品も歓迎します 参加案内

【原稿公募 最終締切】2012年3月31日必着

出版内容 Ⅱ A5版・約600頁前後、右開きが日本語で左開きが

英文の日英合体本3000部・定価3,150円（予定）

全国の書店で販売、海外書店でも発売を計画中。

発行日 Ⅱ 2012年8月発行予定

編者 鈴木比佐雄、若松丈太郎、矢口以文、鈴木文子、御庄博実、佐相憲一

翻訳者 Ⅱ 郡山直、矢口以文、木村淳子、結城文

解説 Ⅱ 若松丈太郎、矢口以文、鈴木比佐雄

発行所 Ⅱ 株式会社コールサック社

公募 Ⅱ 詩作品と同封の〈承諾書〉をお送り下さい。

（掲載の採否は日本語の初校をもって代えさせていただきます。英文翻訳校正は日本語校正が確定した後で数ヶ月先になります。）

参加費（翻訳代含む） Ⅱ 各1頁（日本語縦組み40行×1行25文字、英文は横組み）で2万円、4冊贈呈、各2頁では参加料は4万円、8冊贈呈

二〇一一年三月十一日の東日本大震災による福島原発事故は、日本人だけでなく世界の人びとの生き方や価値観を含めた科学技術文明の根幹の問い直しを突きつけられている。福島を抱えた日本は、福島を通して世界の文明の危機を克服する可能性を追求すべきではないか。詩を志すものは、自らの詩作で身近なところで声を挙げていくべきだ

キリトリ線（参加詩篇と共にご郵送ください）

『脱原発・自然エネルギー二〇〇人詩集』（日本語・英語合体版）

参加承諾書

応募する詩の題名	
氏名（筆名）	
詩人名の読み仮名	
本名	
生年（西暦）	一九 年
生まれた都道府県名	

〒	現住所（郵便番号・都道府県名からお願いします）※
代表著書（計三冊までとさせていただきます）	
所属詩誌団体名（計三つまでとさせていただきます）	
電話番号（市外局番からお願いします）	

※現住所は都道府県・市区名まで著者紹介欄に掲載します。校正紙をお送りしますので、すべてご記入ください。

ろう。未完成な科学技術でしかなく、関わる人びとを被曝させる原発は、人間だけでなく地球環境そのものを取り返しのきかないように不幸にしてきた。原発から人間を自由にさせるためにはどのようなにしたいか。それを様々な角度から詩に書いて欲しいと願っている。それが原発事故で苦しんでいる福島の人びとへの励ましになり、全国の原発を廃棄するための努力を傾注している人びとをも勇気づけることにつながるはずだと考える。日本語だけでなく英語にも翻訳するので、世界の人びとにも読まれる詩篇が望まれる。今こそ原発という「悪魔の技術」から人類と地球を解放すべきだと思われる。また、直接的に原発に触れていなくとも、自然・宇宙の力の根源を見つめ、科学技術や人間の欲望の暴走を批判し、人間の深い知恵を甦らせる詩篇もお寄せ下さい。

以上の趣旨と方向性で左記のような章立てで詩篇を公募いたしますので、ぜひご参加ください。（実際の章立ては集った詩篇に基づいて変更がある予定）（鈴木比佐雄）

【本アンソロジーの趣旨・方向性】

- 一章 原発の危険性を予知・予言していた詩篇（過去に書かれた詩篇）
- 二章 3・11以降の福島原発事故について触れた詩篇
- 三章 全国の原発・世界の原発の廃炉を目指し新たな郷土を目指す詩篇
- 四章 脱原発・自然エネルギーの可能性を暮らしの中に発見していく詩篇
- 五章 福島の経験を世界の人びとや百年後千年後の人びとに伝える詩篇
- 六章 自然・宇宙の力の根源を見つめ、本来の人間の知恵を甦らせる詩篇

——以上の略歴と同封の詩篇にて『脱原発・自然エネルギー二〇〇人詩集』に

参加することを承諾します。

